



論文発表会

修士論文・博士論文の
発表会が行われました。



平成 28 年 3 月 2 日（木）に修士論文発表会、3 日（金）に博士論文発表会がありました。博士前期課程（修士）15 名、博士後期課程 3 名が、大学院生活の集大成として発表しました。



指導教員による院生の紹介



多くの方の協力と指導を受けて、小さな関心の芽からはじまったことを研究としてまとめることができました。今後は、これらの研究結果を発表し、社会に還元していきたい。

研究科長から、これからは教育者・研究者の同志として、ともに夢と信念をもって看護の発展に取り組んでいきましょうと励ましの言葉がありました。



修士課程代表挨拶

学位論文作成

論文発表会に至るまでのプロセスと、院生の皆さんの苦労や工夫を紹介します！！



博士前期課程（修士）は2年間、博士後期課程は3年間かけて、研究を行い、論文を執筆します。その間、しっかりと指導教員が個別指導を行います。

	博士前期課程（修士課程）			博士後期課程
	高度実践看護コース	研究コース	次世代リーダーコース	
1回生	実習・フィールドワークを通して課題を発見。研究テーマを絞る	文献検討を通して課題を精練。研究計画書の作成	現場での課題を発見。プロジェクトテーマを絞る	文献検討を通して課題を精練。研究計画書の作成
2回生	研究計画書作成、倫理審査、研究実施、論文執筆	研究計画の審査、倫理審査、研究実施、論文執筆	研究計画書作成、倫理審査、プロジェクト実施、論文執筆	研究計画書の審査、倫理審査、研究実施
3回生				研究実施、分析、論文執筆

博士前期課程では、コースによって取り扱う課題に特徴があります。高度実践看護コースは臨床実践に強く関連した課題、研究コースは看護の現象や健康に関連した人の反応についての課題、次世代リーダーコースは組織的変革を要する課題に取り組みます。



先生からの指導と、院生同士のアドバイスがとても役に立ちました。他の領域の院生も同じ教室にいて、一緒にランチをするので、お互いに励まし合えたことが、精神的な支えになって最後までやりきれました。（研究コース）

患者さんを対象とした研究だったので、自分のペースだけでデータ収集できるわけではなくて焦った時もありました。研究を通して、患者さんの生活をより深く理解できるようになりました。ただ、文章に表現することはとても難しかったです。（高度実践看護コース）

仕事をしながらの研究で、時間管理が思ったよりも大変でした。でも、働きながら研究のことを考えることもできました。根拠をもって、論理的に人に伝えることの難しさや大切さを実感しました。（次世代リーダーコース）

